

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本もまたポリネシアのように、家族の誰にでも、村の誰にでも、役割があった社会だった。これが、誰もが社会に欠かせぬ一員であるという、強い共同体意識と通じている。日本人にとって、社会の構成員はすべて家族の一員である。

日本は、資本主義のもたらした「ビジネス」に対しても、共同体意識で臨んできた。A ビジネスとは、他者との間に成り立つべきものだ。それを共同体意識の内で行おうとしたところに無理がある。しかし、義理人情で繋がった取引、終身雇用制などによって、その無理を通してきた。B 資本主義の導入は、失業者をも生み

だす。しかし失業者は、共同体意識の中では存在してはならない事象だ。日本人は巧妙に、この問題を避けてきた。失業者は社会の恥、家の恥、として、家族がかくまい、扶養してきたのだ。

個人主義、競争意識の上に成立している欧米社会は、これとは基を異にする。失業は個人の問題。社会は失業者を「怠け者」とか「生活不能者」とかとみなす。そうみなされることによって、欧米の失業者は、個人として、社会の一端に位置することができる。しかし、日本の失業者は幽霊のような存在だ。いるけど、いてはならない。

見えるけど、見えない存在だった。だが、経済不況に見舞われた現在、この幽霊が実体化してきた。失業者をかくまつてきた両親もまた職を失う危機にさらされているのだから致し方ない。ここにきて、日本は、否応なしに失業者問題と対峙たいじすることになる。①しかし日本人は、失業者に対して、おまえが悪い、とはいえない。C 社会が悪いのだ、と考えてしまう。そしてこの社会のどこが悪いのだ、と自らを見つめ直した時、私たちの共同体意識が、ビジネスとは相容あひまれないことに気づかされるのだ。

現代日本は、社会とビジネスとの対立という根本的問題を突きつけられている。この対立は、日本にとって死に至る病である。日本社会の中にも、日本人の精神性の内にも、この問題に対する②処方箋はないからだ。そして失業者問題は、この病を日本という肉体に急激に広がらせる原動力となるだろう。(中略)

家も食物も、金がないと手に入らない社会となってしまうた日本においては、状況はさらに過酷になるだろう。失業者の不満と怒りは、幾多の犯罪を生み出すことだろう。しかし、世界は資本主義の波にすっかり呑み尽くされている。この流れに逆行して、③古き良き共同体社会に戻ることはできない。④死に至る病を得た日本は、社会もビジネスもなし崩しになっていくだろう。その時、私たちはどうしたらいいのか。個人で考えなくてはならない時代に入ってしまったているのだ。

ポリネシア…太平洋で、おおむねミッドウェー諸島・ニュージールランド・イースター島を結んだ三角形の中に

ある諸島の総称。本文の筆者は諸島のひとつタヒチ島で暮らす。

問一 A C に入る言葉をそれぞれ次から選び記号で答えなさい。

ア むしろ イ まったく ウ かつて
エ そもそも オ いったい カ もちろん

問二 傍線部①とあるが、「おまえが悪い、とはいえない」のはなぜか。文中の言葉を使って説明しなさい。

問三 傍線部②のこの場合の意味を五字以内で答えなさい。

問四 傍線部③はどのような「社会」か。文中より抜き出して答えなさい。

問五 傍線部④を「得た」原因を筆者はどう考えているか。次のうち、適切なものには○を、適切でないものは×の記号で答えなさい。

ア 日本人は共同体意識を失って、失業問題を個人の次元の問題として把握するようになってしまったから。

イ 日本人の得意だったビジネスの手法の長所が発揮しにくい経済不況になったために失業問題が発生したと考えているから。

ウ 日本人は失業問題を個人の次元で受けとめることもできないし、ほころび出した共同体意識を再生することもできないから。

エ 日本人は失業問題で浮かびあがってきた、これまで等閑にしてきたビジネスの本質を受けとめることができないから。

二 次の傍線部のカタカナを漢字に漢字をひらがなに直しなさい。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| ① 日本国コクジを押す | ② ソゾウを作る | ③ シンスイの労 |
| ④ コウジンに存じます | ⑤ ショウシヨが発せられる | ⑥ コウワンの施設 |
| ⑦ 大名家のチャクナンだ | ⑧ 新人をトウヨウする | ⑨ グウハツテキな出来事 |
| ⑩ 理論をリセンする | ⑪ キツショウのしるし | ⑫ ゴウタンをもつて鳴る |
| ⑬ 妻の父は岳翁という | ⑭ 定款を作成する | ⑮ 寡占市場に参入 |
| ⑯ 据え物を置く | ⑰ 疫痢にかかる | |